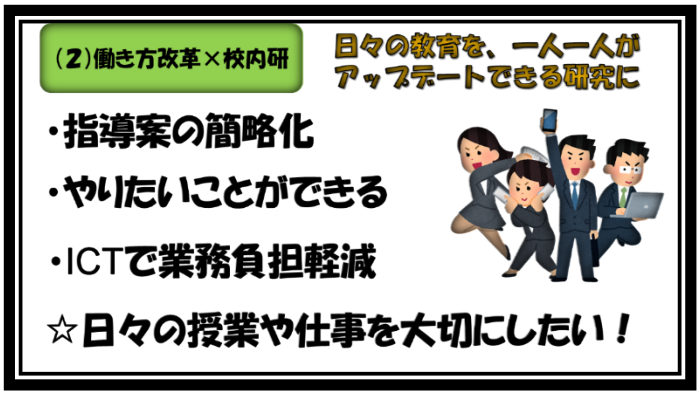
UPDATE

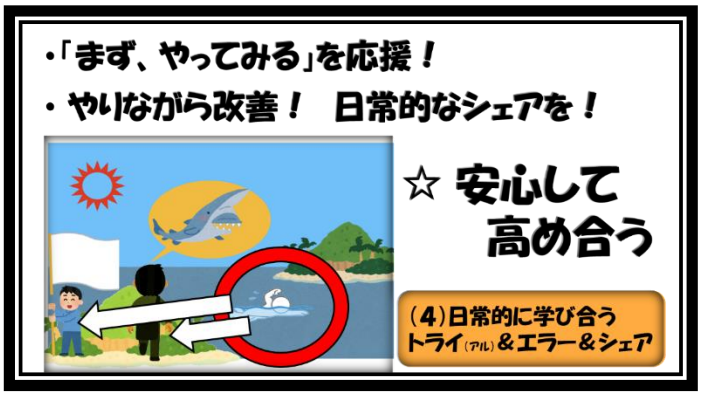
学校経営説明会資料
２０２２．４
研究主任　大野　大輔

日々の教育を、一人一人がアップデートしていける研究に

１　校内アンケートから始まった研究

４月に研究に関するアンケートを取り、その回答内容を４つに集約した。





（１）ICT 委員会と連携をし、「不安」を「安心」に
（２）ICT を活用した働き方改革の推進
（３）研究授業や協議会の在り方を UPDATE
（４）日常的に学び合う職員室の雰囲気づくり
の４つを踏まえての R３赤小校内研究が始まった。

２　ジャムボードで出し合った意見をもとに、研究主題作成　Google Jamboard

一人一人の「この研究をやってみたい！」を出し合った。まとめたものが以下の図。

利活用の対象	児童のため	教師のため	保護者のため
利活用の主な内容	つながりながら創る 学び方を選ぶ 表現方法を選ぶ　等	①使い方指導 ②働き方改革 ③安全管理　　等	①共通理解 ②学習状況理解

つまり、児童、教師、保護者の「3 者それぞれの ICT 利活用」を探っていきたいという意見であったことがわかる。

３　研究主題決定

ICT を利活用し、主体的に学ぶ児童の育成
―　よりよい学びを創る、３者（児童・保護者・教員）の利活用を探る　―

昨年度の理科・生活科・生活単元の校内研究で明らかになったことを引継ぎ、ICT の利活用を探ることに決定した。

昨年度は、主体的に学ぶ態度を涵養するための手立てや、系統性を意識することによる確実な資質・能力の育成が成果であった。

それを引き継ぐと共に、ICT の利活用がどのように学びにイノベーションを起こすのかを明らかにしていきたいと考えた。

間違っても、ICT を目的としない。あくまでも手段として児童が文房具のように利活用していけることを目標に研究が再スタート。

「場面」での利活用を探る研究である。成果に関しては、３月にまとめたい。また、次年度も継続して ICT の利活用を探る。

４　ICT に関するプロフェッショナル講師による研修

「ロイロノートを知ろう！！」

講師　私立宝仙学園小学校　研究主任　吉金佳能先生

内容　「ロイロノート体験（みなさんは子供役）」

講師　八丈町立三根小学校　ICT 主任　古矢岳史先生

内容　「公立学校におけるロイロノート実践」

この研修を通して、ロイロノートを活用する教員が増加。でも、ロイロノートで一本化をするのではなく、「どの学びだと、どのアプリがよいのか？」という視点を大事であることを再確認した。

５　共通理解を図る　Google サイト　＆　校内掲示板　の活用

６　ロイロノートで動画共有、アンケートを実施し協議会用で活用

　ロイロノートの「校内研究」ページを作成し、その中で動画を共有したり、資料を共有したりしている。

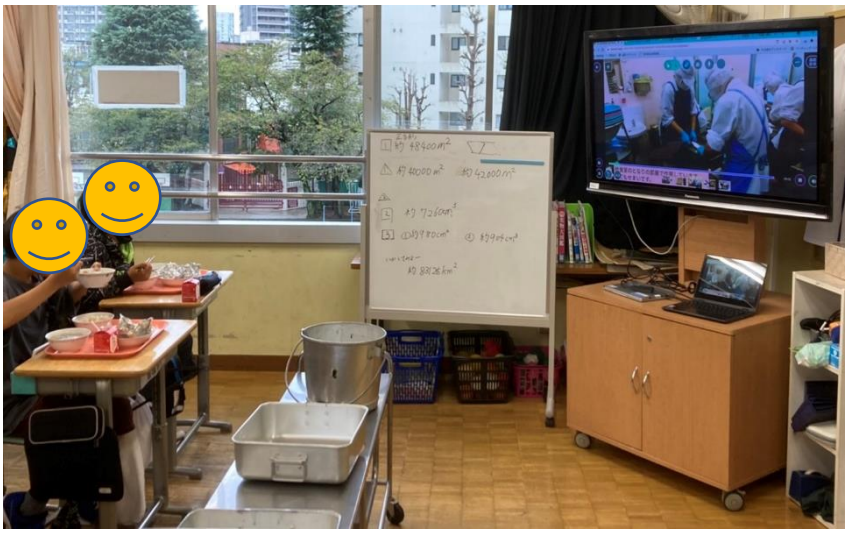
１単位時間の流れに沿って動画を並べて配置してある。指導案やその他の資料も付けて送ってあるため、資料の持ち運びが、chromebook 以外は必要がなくなった。

授業を時間割や家庭の関係で実際に見られなかった教員も、この動画がロイロノートに入れてあることで共有できるし、何度も見直せる。
課題としては、日々の仕事に追われ、みる時間が確保できなかったこと。次回は時間を設けたい。

アンケートもロイロノート内に設けておくことで、事前に意見や質問を引き出すことができた。
その結果、協議会で意見交流や講師の方の話に時間を割くことが可能となった。
次回は１１月５日１４時から高学年分科会協議会
講師　多摩川小　道徳指導教諭　庄子寛之先生

７　給食関係の資料共有

　ロイロノートの資料箱内に給食を作っている動画を栄養主任教諭の椎野先生が保存してくださっている。
　これにより、通常では知ることができない工夫や努力に触れることができ、「感謝」の気持ちが芽生えるきっかけになっている。
　まさに食育における、ICT の利活用と言えるのではないかと考える。



給食中にロイロノート内の動画をみる児童の様子

８　オンライン全校朝会・音楽朝会・集会・学校行事　の実践

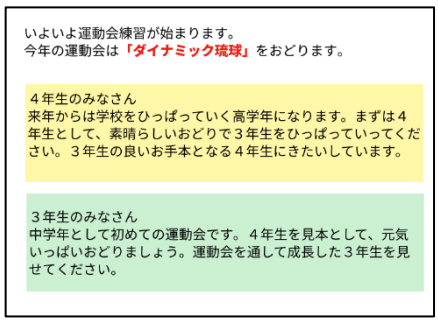
コロナの影響で、できなくなったことの中で、必要なことに関して ICT を活用して可能にしている。例えば、全校朝会での放送を昨年度よりオンラインで実施している。また、体育主任の池本先生が運動委員会の子どもと「水泳学習の心得」や「赤小体操の仕方」などを撮影し、Google ドライブで共有している。他にも、特別活動主任の野崎先生を中心に行事や集会の動画を事前に撮影し、同じくドライブで共有。

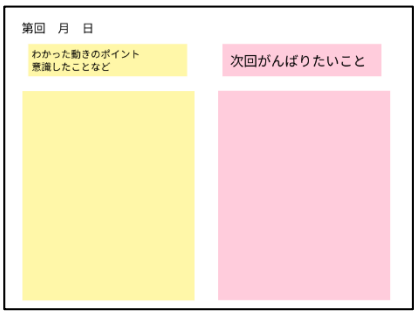
GOOGLEmeet の活用としては、音楽専科の市川先生が音楽朝会を実施した。音楽室から手話やピアノの音を届け、各教室で音楽を楽しめる工夫をしている。

９　運動会指導での利活用

３年担任の笹渕先生が作成した「運動会ふり返りカード」。ロイロノートで作成し、子どもたちに配布。また、中学年の先生たちで撮影した「お手本動画」も子供に送ることで、家でも練習できるように工夫している。

振り返りも中学年の教員や子供たちと共有できるため、利活用といえる。





１０　GOOGLEmeet を活用した、外部人材授業や交流授業の実施

広島原爆に関する WS

沖縄の学校との交流

ICT 主任の柴田先生による研修

今後も様々な交流や外部人材の活用を図っていきたい。